



みなみそうま

市議会だより

令和8年
2月1日発行

Vol.80

発行：南相馬市議会 編集：広報特別委員会 ☎24-5311

【目次】

常任委員会広聴……………	2～4頁
12月定例会議案とその結果……………	5～7頁
賛否が分かれた議案……………	8頁
一般質問……………	9～14頁
議会改革検討特別委員会報告……………	15頁
先進地行政視察報告・ 議員の自動失職と会派……………	16頁
常任委員会閉会中調査・ 3ヶ月間の議会活動……………	17頁
次回定例会の日程・議会傍聴記・編集後記……………	18頁

宝蔵寺の寒桜

「セデツテかしま指定管理事業者」 との意見交換会

10月30日

総務生活



テーマ：南相馬鹿島SA周辺開発について

問 南相馬鹿島SAのこれまでとこれからについて。

答 南相馬鹿島SAの「セデツテかしま」が開業から10周年を迎え、想定よりも多くの方に利用していただいている。施設が手狭になっている。今後の周辺開発によって利用者の利便性向上や地域経済の振興などに期待している。

問 これまで運営してきたの課題や周辺開発を行なうことのメリット、周辺開発に関する懸念事項は。

答 現状の課題として、当初の利用者の想定が53万人だったところでの施設設計だったため、施設が手狭であること。駐車場に入らず、買い物ができない、食堂で食事がしにくいなど、お客さまに不便をお掛けしている点、さらには売り場面積の不足によって、出品物を制限せざるを得ない点、周辺開発が大きな課題で、周辺開発

によって施設が拡大できれば、それらの課題が解決できるメリットがある。

問 一方で、周辺開発の計画では年間250万人の利用者を見込んでおり、そちらの実現に向けてどのように捉えているか。

答 「検討委員会で設定した数値」としたうえで、はっ

きりとした見通しは立っていないものの、これまで蓄積してきたノウハウを基にどうやって250万人の方に利用していただくか、施設などのハード面が拡張されれば目標達成に向けて、そこに近づける努力はできる。



(株)野馬追の里
代表取締役 伊藤博人様

セデツテかしま
店長 佐藤 孝征様

文教福祉



テーマ：民生委員活動の現状と課題について

「民生委員児童委員連絡協議会」 との意見交換会

11月21日

問 民生委員の活動は。

答 市民の皆さんのあらゆる困り事、いろいろな分野の相談に応じて、社会福祉協議会や地域包括支援センター、市の社会福祉課などにおつなぎをする役目であります。住民の方々のお話を聞いて、民生委員自身がお答えを出して解決に至ることは決してありません。

問 やりがいを感じること

答 同じ地域の中であまり顔見知りでないという方でも、「民生委員ですけれども、顔を見ることができるといいですね」とか、どこかあったかなと思ってい

答 高齢者の独り住まいとか、あるいは高齢者だけのところを重点的に回っているんですね。そうすると、待っていてくれる人がいるんですね。もう向こうは話

したくて話したくてしょうがないということ、自分の奥さんの話から、自分の趣味の話からいろいろしてくるんですね。待つてもらっているんだなっていう気持ちを感じると、とてもうれしいと思いました。

答 その度に、感謝の言葉を

をいただいています。人生100年、まだまだ元気な高齢者がいるので「お互いに元気で長生きしようね」が合い言葉で訪問活動が続けております。

答 各行政区の老年寄りの方、高齢者の方への見守り訪問の際には、「来てくれてありがとう」と、この一言を言っていただけ、それだけでよかったなという思いになっております。皆さん、地域住民の方は民生委員を待っていますので、そしてお話をしたいと。誰にでも話できない

ようなお話を民生委員は守秘義務がありますので、それをもってみんないろいろなお話をしてください。そこに頼っていただける、自分があるということは、幸せなことだなと感じております。



太田民児協 会長
牛来 敏夫 様

高平民児協 会長
西村 幸子 様

大窪民児協 会長
太内 眞弓 様

原町民児協 会長
鈴木 礼子 様

石神民児協 会長
佐藤 正彦 様

小高民児協 副会長
林 勝典 様

鹿島民児協 会長
渡部 実 様

「起業型地域おこし協力隊」との意見交換会

10月23日

建設経済



テーマ：活動事業の現状と課題について

問 地域おこし協力隊の任期について。

答 協力隊の任期は3年で終了。活動費の支給が終わることになります。

問 任期終了後の事業展開について。

答 継続してそれぞれ自立し、この地域で事業展開や人の雇用をされている方もおられる状態です。

起業型地域おこし協力隊は、隊員が自由にやりたい事業に独立して取り組み、市から委嘱を受けて個人事業主として活動します。

この事業は2017年6月より募集を開始し、これまで22人採用しました。その中で5人の方は他の地域に行きましたが、定着率は77%を超えており全国平均を上回っています。

問 コミュニケーションや地域の理解、そして行政も含めたネットワークなどの支援体制の必要性について。

答 ネットワークの必要性は、すごく感じています。時間を作る難しさがあり、今後の課題でもあります。

答 地元の集まりに参加したり、そこで繋がりたり各行政區長さんにお願ひして少しずつ広げております。

答 土地探しについては、効率的に探せる一般的なシステムがあればと思います。

答 小高商工会の既存事業者と新規事業者との交流会を年に1回やり、そのときは皆さん参加され繋がり場の場を作っております。

問 起業型地域おこし隊の期間は3年ですが、本当に十分なのか捉え方について。

答 ちょうどいいと思っています。1年ですと、この地域では軌道に乗せられず3年間サポートのある中

で、その過程で失敗もありますし、軌道修正しながら、軌道に乗せる期間としては、3年はちょうどいいかなと思って感じております。



後列左から

OWB株式会社

神尾早苗様、和田智行様

地域おこし協力隊

朝野建大様、中川雄斗様、小野雅也様、

加藤知樹様

前列左から

地域おこし協力隊

岩本一帆様、橋本恭祐様、寺本真弓様

令和7年 12月定例会

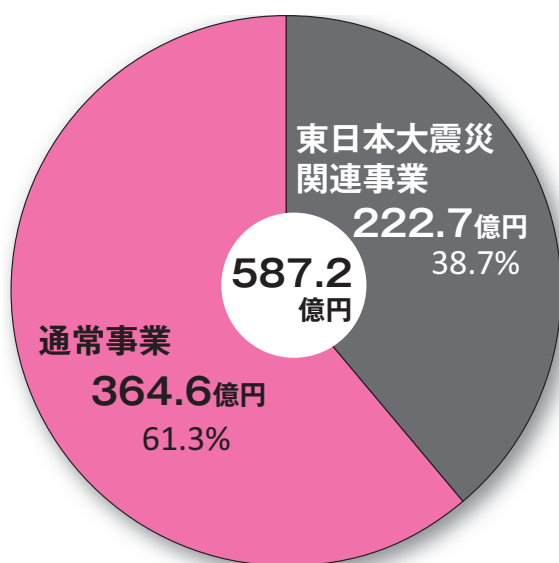
定例会

12月定例会は12月3日(水)から22日(月)までの20日間の予定を25日(木)まで3日間会期を延長し、23日間開催され、市長から提出された条例13件、予算9件、人事3件、その他14件の議案39件を審議し、いずれも原案の通り可決・同意しました。

また、陳情1件を採択、委員会提出議案2件、議員提出議案1件を原案の通り可決しました。

令和7年度 南相馬市一般会計補正予算の概要

第三次総合計画「7つの政策の柱」に基づく対応など、緊急に対応すべき予算を計上するとともに、福島県人事委員会勧告に準じた職員給与改定及び人事異動等に伴う人件費の補正、国の総合経済対策に伴う補正を行いました。



一般会計補正予算額

9億3,007万円

令和7年度 一般会計予算総額

587億2,297万円

予算

一般会計

歳出

防災情報発信強化事業

427万9千円

【事業内容】

災害時における住民への情報伝達手段の充実を図るため、防災行政無線の機能を強化する。

質疑

今の受信機では受信しきれないのか、内容がうまく自動起動装置に伝わらないのか、そもそも受信ができない状態なのか。

答弁

現在Jアラートのレシーバーで受信している情報種別は全部で39。大津波警報など強制的に自動放送するものが9つ、市が自動放送するものが16、基本的に市が手動で放送しない限り放送されないものが11、実際に放送しない設定のものが3つ。

更新しない場合、特に影響が出るのが特別警報。例

例えば、大雨特別警報は今回の気象庁の防災気象情報の変更によって、今の受信機では対応していない。

生活保護扶助費

1億4千173万5千円

【事業内容】

生活保護法に基づき、被保護者に対し最低限度の生活の保障を行うため、必要な扶助費を支給する。

質疑

扶助費の大きな増額の理由は。

答弁

当初の予定では、東京電力の賠償金により、生活保護を一時廃止した方の再開を見込み予算計上していたが、それ以上に失業や就労の収入の減少により申請する方が増えているため。

質疑

認定された人数は。

答弁

12月1日現在の申請が100件、そのうち失業等は21件で新規に認定した件数は82件。

農地生産基盤パワーアップ
事業補助金 315万円

【事業内容】

収益力強化と生産コスト削減を図るため、高性能な機械を導入する農業者に対し、補助金を交付する。

質疑

生産する作物の種類及び対象面積は。

答弁

ブロッコリー、キャベツ、ネギの3種。令和9年に、ブロッコリーは現状9haを11haに、キャベツは現状10haを11haに、ネギは現状も計画も4haで、合計で現状23haから計画26haと、3ha増の目標を立てている。

質疑

導入するブームスプレーヤーとドローンとの違いは。

答弁

乗用型の自走式散布機で、散布幅は9m～15m、薬剤容量も850ℓ搭載でき、ドローンが薬剤容量15ℓ、約15～20分に1回バッテリー補充も必要なので、作業効率が格段に高い機械である。

原案の通り可決。

条例

個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部改正

【主な内容】

住民基本台帳システム等において、「住登外者宛名番号管理機能」の運用を開始するため、独自利用を行う事務等に住登外者の情報の管理に関する事務の追加等を行うもの。

質疑

住民一人一人に対し、マイナンバーや宛名番号があるが効率的でない。ゆくゆくはマイナンバーだけになっていくのか、今後の方針について伺う。

答弁

現時点はマイナンバーなど様々な番号コードが統一されることはなく、複数の番号を持ちながら管理していくと考える。

一方で、宛名番号や住民票コードなどを複数持つことで、セキュリティを保っている仕組みがあるため、番号管理については、国の動きを注視し、セキュリティ

ティを保ち業務の効率に気をつけて行きたい。

原案の通り可決。

その他

公の施設に係る指定管理者の指定

【主な内容】

市パークゴルフ場の指定管理者を指定するため。

質疑

市パークゴルフ場は以前から、利用者からの苦情が絶えず、改善を図ってもらうようにお願いした経過があったがその後も頻繁にクレームが来ていた。クレーム現場について指定管理者とどのように改善を計って来たのか伺う。

答弁

芝の管理計画を改めて確認すると共に接遇研修を現場で行った経過がある。芝の管理は令和5年度から、順次、悪い部分を修繕してきた。今後も現場を利用されている協会の方と情報を共有して芝管理の徹底を図って行く。

原案の通り可決。

公の施設に係る指定管理者の指定

【主な内容】

市営住宅及び定住促進住宅の指定管理者を指定するため。

質疑

太平洋ビルサービス株式会社の実績について伺う。

答弁

相双地区内1千181戸、県中・県南地区内3千88戸の県営住宅の指定管理を受託している。

質疑

指定管理すること、居住者にどのようなサービスが期待できるか伺う。

答弁

防犯・防災の広報の他、修繕等で入居者宅を訪問した際に生活状況を確認し、民生委員や行政機関との取り次ぎサービスをすると提案がある。

質疑

市内に事業所等の活動拠点を有する業者とのことだが、市税納入者になるのか伺う。

答弁

南相馬市の税の完納証明書もいただいている。

原案の通り可決。

人事

教育委員会の委員の任命

百田 尊道
(鹿島区 新任)

原案に同意。

固定資産評価審査委員会の委員の選任

鈴木 利将
(原町区 再任)

濱田 早苗
(鹿島区 新任)

原案に同意。

選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙

【委員】

鈴木 幸治
(鹿島区)

相良 雄史
(原町区)

林 勝典
(小高区)

関戸みよ子
(原町区)

【補充員】

猪野 昇
(原町区)

佐藤 満子
(鹿島区)

美雪
(小高区)

長川 清隆（原町区）

指名推選により当選人と決定。

陳情

小高区内国道6号線の環境整備に関する陳情

【陳情内容】

中断されている区間の歩道工事の早期再開と完成、法面の法足までの草刈り除草の徹底、雑木等の伐採、法面に植樹された桜の剪定の実施と指導、ゴミの不法投棄の撲滅について、関係機関と協議し、実施されることを求めるもの。

【陳情者氏名】

小高区下耳谷行政区長

阿部 貞康

小高区上蛸沢行政区長

佐藤 秀久

小高区女場行政区長

西山 典友

採択。

委員会提出議案

市議会委員会条例の一部改正

【提案内容】

常任委員会と市内団体等との意見交換会に係る条例等の定めがなく、位置づけが曖昧となっていることから、委員会条例に意見交換会を設け、位置づけを明確にするもの。

【提出委員会】

議会運営委員会

原案の通り可決。

市議会等の要求により出頭又は参加した者に対する実費弁償に関する条例の一部改正

【提案内容】

常任委員会と市内団体等との意見交換会参加者に実費弁償を支給できるようにするもの。

【提出委員会】

議会運営委員会

原案の通り可決。

議員提出議案

国道6号に係る法面の環境保全についての意見書

【提案内容】

小高区内国道6号線の環境整備に関する陳情の内容に加え、南相馬市内全域の国道6号の「法面管理計画」を策定し、計画的に進めることを国に対して要望する意見書を提出するもの。

【提出議員】

郡 俊彦議員

原案の通り可決。

公の施設に係る指定管理者の指定

指定管理者を指定するため提案され、議決された公の施設一覧

施設の名称	施設の名称	指定期間
小高区復興拠点施設	一般社団法人南相馬ミライエ 代表理事 荒明 健	令和8年4月1日から 令和10年3月31日まで
小高区商業施設	有限会社丸上青果 代表取締役 岡田 義則	
市営住宅及び定住促進住宅	太平ビルサービス株式会社福島営業所 所長 伊藤 謙二	
小高区内スポーツ5施設	浮舟うきうきクラブ 会長 林 靖	令和8年4月1日から 令和13年3月31日まで
鹿島区内スポーツ7施設	特定非営利活動法人かしま元気スポーツクラブ 理事長 但野 裕	
原町区内スポーツ12施設	太田大甕スポーツクラブ 会長 西 祥一	
市民プール	株式会社フクシ・エンタープライズ 代表取締役 福士 朝尋	
パークゴルフ場	株式会社東武 代表取締役 尾形 衛	
馬事公苑	特定非営利活動法人はらまち交流サポートセンター 代表理事 門馬 浩二	

令和7年12月定例会で賛否が分かれた議案

賛否が分かれた議案

議案第138号 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算

【議案の主な内容】

職員給与改定等に伴う人件費の補正を行うもので、補正額244万1千円を減額し、補正後の歳入歳出総額が78億8千667万円となった。

反対



郡 俊彦 議員

旧基金18億円の積み立ては、地方税法に違反しての取り過ぎ分であり、旧基金制度が廃止になった時に、それまで納め過ぎていた納税者に返すべきであった。議会質問で、地方税法違反が明らかになっ
てきた。事実を検証せずに押し切ることは許されない。

賛成



表 信司 議員

今回の補正予算については、福島県人事委員会勧告に準ずるために必要な人件費の補正予算の提案であり、反対理由の基金そのものについては審査の対象外であること、また、これを反対すること
で他の職員との格差が生まれることも懸念されることから賛成する。

賛成



志賀 稔宗 議員

前回同一課税とするための基金取崩しは基金が規定する想定外であるとの反対意見であるが、基金条例6条2号で「税の大幅な引上げが見込まれる場合これを緩和するための経費の財源に充てる場合は取崩しできる」と規定しており当時の被保険者の負担軽減のため税額を引上げない判断であり合法であるので賛成。

令和7年12月定例会で賛否が分かれた議案

議 員 名 議案等の名称				議決結果	尚 友 会							改革クラブ				志政会		市民クラブ		誠心会		無会派			
					大岩 常男	山田 雅彦	今村 裕	細田 廣	平田 武	太田 淳一	田中 一正	田中 京子	鈴木 貞正	竹野 光雄	小川 尚一	渡部 一夫	鈴木 昌一	岡崎 義典	表 信司	櫻井 勝延	中川 庄一	菊地 洋一	大場 裕朗	郡 俊彦	志賀 稔宗
12月定例会	市長提出	予算	議案第 138 号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議	○	○	○	○	○	×	○	○	

○ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可 可決 否 否決 繰 継続審査

○ 採決の結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 賛 賛成 反 反対 議 議長 欠 欠席 退 退席

12月定例会における全ての議案及び議決結果については、市議会のホームページをご覧ください。



一般質問

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。

答 避難市町村での広域整備の要望を令和3年度から継続し

問 自治体の判断で人的被害対策として緊急銃猟が可能となりました。その後の対応や取組みについてどのように進めてきたのか伺う。

答 市では福島県自然保護課や南相馬警察署等、関係機関と意見交換を行い緊急銃猟実施マニュアルを令和7年10月30日に策定いたしました。

問 捕獲隊の人員確保に向け被災自治体と連携して射撃場の設置に向け県・国に要請して行くべきと考えが見解を伺う。

答 避難市町村での広域整備の要望を令和3年度から継続し



竹野 光雄 議員

熊出没時の対応策は



ており、引続き被災地の狩猟者減少やツキノワグマ対策等の今後を見据えて広域整備の要望をして参ります。



猟友会による実技演習

問 稲作直播栽培の推進について国では、「育苗と田植えが不要となる育苗資

乾田直播栽培に向けた補助確保について

その他の質問
① 本市の婚活事業について
② 農業の振興について
③ 終活支援への対応について

答 国の補助制度について現時点では、事業内容の詳細については国の補助制度等今後の状況を注視するとともに、市としても直播技術の導入への推進等、労働力軽減になるよう取り組んで参りたいと考えているところであります。

材と労働力の削減が期待出来る直播栽培の普及支援に乗り出し、補助金の仕組みを進めていく。」とあるがどのような進めるのか伺う。

問 令和5年12月の空家特措法の一部改正により、放置すれ

答 令和5年度と令和7年度に1回ずつ。

問 協議会を開催しなければ認定されず、認定されなけれ

答 令和5年度と令和7年度に1回ずつ。

問 令和5年12月の空家特措法の一部改正により、放置すれ



岡崎 義典 議員

市の空き家対策は

不十分



問 令和5年12月の空家特措法の一部改正により、放置すれ

答 令和5年度と令和7年度に1回ずつ。

問 協議会を開催しなければ認定されず、認定されなけれ

答 令和5年度と令和7年度に1回ずつ。

問 令和5年12月の空家特措法の一部改正により、放置すれ

その他の質問
① 総合病院の役割と経営改善について
② 附属小高診療所について
③ 空き地の適正管理について

問 令和5年12月の空家特措法の一部改正により、放置すれ

答 令和5年度と令和7年度に1回ずつ。

問 令和5年12月の空家特措法の一部改正により、放置すれ

答 令和5年度と令和7年度に1回ずつ。

	世帯数 (令和5年度)	空き家件数 (令和5年度)	空き家率
鹿島区	3,691	281	7.6%
原町区	18,016	1,356	7.5%
小高区	2,625	545	20.8%
計	24,332	2,182	9.0%

市内の空き家の状況（令和5年度）

一般質問



田中 京子 議員

認知症予防の

取り組み方は！



問 認知症の予防としての市の取組みについて伺う。

答 市の認知症施策は、大きく3つの柱で取組んでおります。①認知症について知ること。②認知症を予防すること。

③認知症の人や家族への支援です。この取組みにより、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる共生社会を目指

します。

問 家族の状況は様変わりし、独居、老介護、認知介護と家族の介護力は著しく低下する中、市民と力を合わせて認知症予防に取り組む考えについて伺う。

答 チームオレレンジ・介護教室・サロンに出向いての聞き取りや講話など続けながら、民間団体との連携を密にし家族の不安や悩み軽減に努めていく考えです。併せて令和7年4月か

ら認知症に関する条例を制定しました。

問 本市の健(検)診に聴力検査を含める考えはあるか伺う。

答 難聴は高齢者の生活の質の低下や認知症の発症要因の一つである。他自治体の聴力検査の取組状況なども確認し、保健衛生協会、相馬郡医師会、医療機関など関係機関の意見を受けながら、聴力検査の実施の可能性を調査、研究してまいりたいと考えております。

その他の質問

①難聴の方への避難所での対応について

②市民盆踊り大会について

③相馬の民謡について

一般質問



大岩 常男 議員

みんなの安心・安全 な暮らしを守る



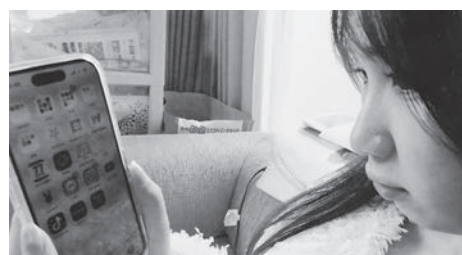
や入居者の孤立を防ぐ環境の提供に努める。

問 児童生徒のスマートフォン等の使用について伺う。

答 スマートフォン等の使用の大半は家庭であり、保護者の方にも使用に伴う危険性、使用上のルールづくりや有害サイトへのアクセスを制限するフィルタリ

問 災害公営住宅における入居者の孤立を防ぐ対策について伺う。

答 入居者同士の会話の創出やお互いの見守りができる工夫をしており、集会所の利用で入居者同士のコミュニティ形成



安全なスマホの使い方

グの必要性を認識していただき、利用状況に関するアンケート調査の結果などを保護者に知らせ、話し合いや、啓発等の活動をしている。

問 本市の児童虐待強化体制について伺う。

答 母子保健と児童福祉の両部門の連携協働を深め、個々に切れ目のない支援を行う。

その他の質問

①医療的ケア児等の避難誘導について

②高齢者の安心・安全について

③子どもの安全・安心について

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



南相馬市誕生から20年を迎えるにあたり

問 合併からこれまで、どのような考えで、どのような事業に注力してきたのか伺う。

答 新市合併の基本理念を南相馬市第三次総合計画に引き継ぎ、各区の特性を生かしながら、住民の福祉向上と均衡ある発展、個性的で魅力あるまちづくりを目指してきた。教育・子育て・健康・医療・福祉など7つの政策の柱を掲げ、各施策に取組んでいる。また、合併協議における各区の普通建設事業の割合も概ね維持

大場 裕朗 議員

市民一体感ある
南相馬市の醸成を!!



されている。

鹿島区の災害復旧
工事について

問 県道267号大芦鹿島線は、令和4年の地震による落石の影響で通行止めだが、早急な解除に向けた県への要望、工事の現状について伺う。

答 被災箇所以外でも落石や倒壊が発生しており、調査・対策にまだ時間を要す



早期復旧を求める県道267号大芦鹿島線

る。県と緊密な情報共有を図っていく。

高齢者・障がい者等の交通手段の確保について

問 みなタク事業を見直す際には、利用者・事業者からの意見も大きく反映させるべきと考えるが見解を伺う。

答 利用者の利便性と制度の継続性の両面から、引き続き関係機関と協議し、合理的・経済的な交通体系を考えていく。

その他の質問

- 1 郷土愛を育む教育の推進について
- 2 雨水排水対策・側溝新設の進捗について
- 3 自走式ロープウェイの整備について



郡 俊彦 議員

急がれる
合併特例債の活用計画



問 合併特例債の根拠となる法律の目的は何か。

答 地域全体の発展のために用いる地方債です。

問 合併特例法により、均衡ある発展を図ることを目的とする「新市建設計画」を策定し、中央にだけお金使われてはならないという趣旨の制度でないですか。

答 地域全体の発展のために用いる地方債との認識です。

問 特例債の各区の実績は。

答 小高区が22億9千770万円、率にして14・6%、鹿島区が26億8千90万円、率にして17%、原町区

が107億8千380万円、率にして68・4%となっています。

2、2、6の各区バランスを堅持しておりますが、財源ベースのバランスは取っていません。

問 均衡ある発展というのは、周辺地域の寂れを防ぐという目的の制度ですよ。それを理解されていないように思う。

30億円は残っている。うち約18億円を市長としては、サービスエリア関係に使いたい、それでも約12億円残ります。遅れている自治区のまちづくり促進を図るべきでないか。

答 合併協定による合併の基本理念や、

合併特例法などを精査した上で、有効活用を図ってまいりたい。

〔合併市町村基本計画の作成…〕
第六条 次に掲げる事項について、作成…
一 …円滑な運営の確保及び均衡ある発展を図るための基本方針
二 …均衡ある発展に特に資する事業に関する事項
四 合併市町村の財政計画

「新市建設計画」の根拠となる法律の一部

その他の質問

- 1 情報共有による市民の相互理解の推進
- 2 バランスの取れた予算編成を
- 3 国保会計基金について

一般質問

一般質問



櫻井 勝延 議員

南相馬鹿島SA周辺 開発基本計画について



問 およそ10億円を投じる根拠について、市の負担は36億円で実質負担は6.8億円であり、民間は60億円を調達とあるがその根拠について伺う。

答 (60億円のうち) 市が金融機関から地方債を(30億円)借りてふるさと財団経由で(無利子で)事業者に行く形になる。残り20億円は民間が資金を3%の金利で借り、あと10億円は国、県から補助金、交付金等と想定している。

てこの連帯保証するのかが伺う。

答 今回の場合、建物がありますので、建物を担保に入れたら、SPC(民間事業者)が事業をやるので、SPCの事業の経営権みたいなところを担保に入れるとかの方法でやられております。

問 今回市が性能発注という初めての発注方式をするところがあるが、市はここにとんな性能を持たせようとしているのか伺う。

答 基本計画では、事業の実現に資する施設のコンテンツの例として、飲食、宿泊、温浴、物販、野馬追、馬文化、伝承



南相馬鹿島サービスエリア
周辺開発基本計画の概要

その他の質問

- ① 職員の働き方について
- ② 人口減少対策について
- ③ 災害対応と対策について

一般質問



小川 尚一 議員

市長任期8年の 成果と反省について



問 市長は2期目を終えるが、これまでの取組成果を伺う。

答 将来に向け、夢のある事業にチャレンジする新たな復興のステージを迎えている。課題として、震災の影響からの脱却、年少人口と生産年齢人口の急激な減少など、完全には解決できていない。

問 具体的には、小高区の有床診療所で、公約にされて、随分時間がかかっている。以前から無理ではないかと指摘しているが、どこかの時点で整理して、前に進むべきではないか伺う。

答 確かに入院機能について実現できていない。力不足というのを感じている。ここを突き進めることによって市の医療環境を壊しては困るので、バランスを取りながらと思っている。



有床病床の実現が待たれる小高診療所

いるか伺う。

答 中心市街地は、商業や交通手段の提供、文化・教育、医療など、多岐にわたる機能が集積し、地域固有の文化や伝統を育んできた「まちの顔」と言える地域と捉えている。

問 中心市街地全体のデザインが必要ではないか伺う。

答 企画部門、建設部門とも連携して取り組んでいく。

中心市街地の灯りを消さない取り組みを

問 中心市街地の賑わいについて、中心市街地内の商業はどうあるべきと捉えているか伺う。

- その他の質問
- ① 公共施設のLED化の取組について
 - ② 照明器具リース事業の必要性について
 - ③ リース事業の債務負担行為について

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



種子島宇宙センター

問 市と協定を締結している企業が真に市に求めているものは何か。

答 本市による伴走支援を行っている。実証試験や工場の立地に当たり、関係機関・団体の洗い出しや地元関係者との調整支援を各社の事業の進捗、課題に応じて実施している。こうした市の取り組みは企業から大変喜ばれ、北海道に本社を置いているイン



田中 一正 議員

宇宙関連企業の今後の成長に向けて



ターステラテクノロジズ(株)は本市に工場を建設するに至ったものと受け止めている。

問 宇宙関連産業に関しては専門の知識経験を持った職員が必要と考える。市職員の養成についてどう。

答 宇宙関連産業の振興に当たっては職員が宇宙に関する知識、あるいは経験を備えていると言うことは非常に大きな推

進力になり得るものと認識している。

本市ではこれまで、多様な経歴や知見を有する職員を担当者として配属してきた。これらの職員が宇宙関連企業の相談に寄り添いながら、経験を重ねる事により実務の中でノウハウを蓄積して来ている。市としては引き続き関連機関との連携を強化すると共に職員の養成等、その在り方についても前向きに検討していく。

その他の質問

- ① スペースポート整備に向けて
- ② 本市のごみ対策について
- ③ 本市のセキュリティ対策について



表 信司 議員

被害者も加害者も作らないために



問 カスタマーハラメントの現状について伺います。

答 令和7年度のカスハラと疑われる事案については、4月と9月にそれぞれ1件、本庁の窓口で発生しています。庁内で暴力暴言等を職員に対して行い、警察を呼ぶ事案が起きたもので、職員に危険が及んだために警察への通報を行うなど、マニュアルに

沿った迅速な対応をしたと確認をしています。

問 カスハラに関しては、窓口よりも電話対応で発生するケースが多いように思われます。相手がわからない状況では、一方的に話をされ、後々言った、言わないの話にもなりかねませんし、問い合わせ内容の正確な把握や対応のためにも、録音機能やナンバーディスプレイ機能



「カスタマーハラスメント対策啓発ポスター」

能を持った電話機の設定も必要かと思いますが、いかがでしょうか。

答 対面でのほかにも電話口でのカスハラも発生しています。録音やナンバーディスプレイ機能のある電話機も一部の窓口で導入しておりますが、全窓口への設置は難しい状況ですが、庁内で発生している状況についてしっかりと情報共有し、必要な対策を検討していきたいと思っています。

その他の質問

- ① 超過勤務時間の偏在について
- ② 技能労務職の採用について
- ③ 定員適正化計画の見直しについて

一般質問

一般質問

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。

問 本市の熊目撃情報や被害の実態をどのように捉え駆除や追い払いなど今後の対策をどのように進めるのか。

答 通報件数は7年度が9件で6年度の2件に比べ5倍近くになっている。福島県避難地域鳥獣対策支援員と共に通報者へのヒアリングや目撃箇所の現地調査をしたが市内にツキノワグマの出没が確認されていない。しかし出没する範囲の拡大の懸念はあることから出沒対策マニュアル緊急銃猟実施マニュアルに基づきながら毎月の定例打合せ等で関係機関と情報共有や連携を行い対応を準備する。



志賀 稔宗 議員

熊は山に追い払い
安全で安心な環境を



ツキノワグマ

問 子宮頸がんの予防効果のあるヒトパピローマウイルスワクチン接種は男性の肛門がん直腸がんなどにも有効なことから男性接種も推奨されている。市としても積極的に普及啓発を図るべきと考えるが取り組み状況は。

答 相馬郡医師会との意見交換では先ず女性の接種率の向上が必要との意見がありしつかり取組む。男性接種については国が定期接種化に向けて検討している。市としても若者の将来のがん予防の観点から男性接種も有効と考えており市の接種推進について助成金を含めその方策を検討する。

その他の質問

- 1 認知症予防対策に更なる注力
- 2 除去土壌対策は住民理解が大前提

一般質問

問 市内で飼われている犬猫の数について伺う。

答 犬は狂犬病予防法登録数から令和7年11月30日現在3千8頭。猫はペットフード協会が実施する全国犬猫飼育実態調査からの数値を本市人口比率換算で約4千頭と想定している。

問 ペット埋葬に関する法令や条例について伺う。

答 法令では様々であるが、動物の死体が一一般廃棄物に該当する場合と該当しない場合があると捉えている。市では条例により「市営墓地」にペットの埋葬につ



菊地 洋一 議員

ペット埋葬について



いて相談があった場合には、お断りしている状況である。

問 かわいがっていた犬や猫が亡くなったとき、埋葬する場所に悩んでいる市民がいる。宮城県仙台市、名取市、富谷市、利府町では行政が運営する愛玩動物納骨堂が設置されている。

答 本市にも同様の施設が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 愛情を持って一緒に生活してきた犬や猫などのペットが亡くなった際の供養の選択肢として、愛玩動物納骨堂や愛玩動物霊園などがあることは認識している。



富谷市ペット合葬墓地

その他の質問

- 1 外国人との共生に係る課題について
- 2 入札について

議会改革検討特別委員会報告

委員長 渡部 寛一

議員定数と議員報酬について

議員定数と議員報酬については、これまでも市議会議員選挙の1年前に結論を出してきました。令和8年11月の市議会議員選挙に向け、検討した結果を報告いたします。

まず、令和6年8月に淑徳大学大学院客員教授・慶応義塾大学名誉教授である金子勝氏を講師にお招きし、全議員を対象に、議員定数と議員報酬についてご講演をいただきました。

その後、議会改革検討特別委員会において会議を重ねた結果、議員の定数については、人口減少はあるものの「職員数は伸びていること」「南相馬市の人口に近い自治体で

の議員定数の実態を調べたところ、平均定数は25.6人であること」が報告されています。

議論の中では、本特別委員会での報告内容について、特別委員全員から意見を述べてもらいました。

「若い議員の『なり手』がない中で、議員定数と議員報酬を削減するのはいかがなものか」「物価高騰の問題があるものの、諸情勢や調査した現状等に鑑みますと、安易に議員報酬は引き上げられない」等々の意見が出されました。

以上のような議論を重ねた結果、「議員は今後それぞれの資質を高めながら、市民の期待に応えられる議会にしていかなければならないこと」を

確認し、議員の定数及び報酬については、現段階では「現状で継続すべきである」との結論に達しました。



◀講演会の様子

議員定数の変遷

	議員定数
H18.11（市議会議員選挙）	26
H22.11（市議会議員選挙）	24
H26.11（市議会議員選挙）	22
H30.11（市議会議員選挙）	22
R4.11（市議会議員選挙）	22

議員報酬

	議員報酬（円）
H18.1～現在	385,000

議会運営委員会

先進地行政視察報告

北海道帯広市

(10月6日)

帯広市議会は、議員政策研究会を設置し条例制定や市への政策提言を行うなど、政策立案能力の向上に努めています。また、議会運営の効率化も積極的に進めており、令和5年度にタブレットを導入し、令和6年度には完全ペーパーレス化を実現しました。

中でも特徴的なのは、市民参加と連携を重視している点で、市民との意見交換の場として、常任委員会ごとにブースを設ける「市民意見交換会」を開催。さらに、高校生や大学生のところへ出向き、ワークショップ形式で行う

「おでかけ意見交換会」を実施するなど、多様な層の市民の意見を積極的に聴く活動を行っています。

北海道栗山町

(10月7日)

栗山町議会は日本で最初に議会基本条例を制定した議会ですが、こちらからの事前質問に答える形で議会運営・議会改革について説明をいただきました。

議案に関する資料請求については、議会としての請求は行わず、「議員による執行機関への資料請求に関する申し合わせ事項」に基づき、個々の議員が請求する形をとっています。

また、広報広聴活動として、町内の団



体と議員が意見交換をする一般会議の他、議会報告会、出前報告会、町民からモニターを募集して議会からの意見を反映する議会モニターなど、さまざまな手段で町民の意見を町政に生かすようにしています。

町議会が選挙無投票をきっかけに、令和5年度からなり手不足解消のため「議員の学校」を開校しており、この議員の学校や議会モニターから実際に議員が誕生しているとのことでした。

議員の自動失職

櫻井勝延議員が南相馬市長選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により、令和8年1月11日付けで市議会議員の職は自動失職となりました。

これにより、当市議会は、現員数21名となりました。

会派構成の変更

会派「市民クラブ」は令和8年1月11日付けで解散届を提出したため、次のように会派構成が変更となりました。

No.	会派名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
1	尚友会 7人	代表 田中 一正	会計 太田 淳一	平田 武	細田 廣	今村 裕	山田 雅彦	大岩 常男
2	改革クラブ 5人	代表 渡部 一夫	事務局長 小川 尚一	会計 竹野 光雄	幹事 鈴木 貞正	幹事 田中 京子		
3	志政会 2人	代表 岡崎 義典	鈴木 昌一					
4	誠心会 2人	会長 菊地 洋一	会計 中川 庄一					
5	無会派 1人	大場 裕朗						
6	無会派 1人	表 信司						
7	無会派 1人	郡 俊彦						
8	無会派 1人 (公明党南相馬市議団)	志賀 稔宗						
9	無会派 1人	渡部 寛一						

合計 21人 ※同数会派は五十音順

常任委員会閉会中調査

総務生活

DXの進捗に関する
状況調査

本市におけるDX
(デジタル・トランス
フォーメーション)は、
行政手続きのオンラ

イン化など行政サービスの向上
のほか、①職員の負担を減らす、
②紙を減らす、③重複投資を減
らすの3つの減らすと、DX人
材育成の取組みを基本的な考え
方として、そこから生み出され
る業務の改善や効率化により創
出した労働力(人的資源)を市
民サービスの向上に再配分して
いくことを目標に取り組みれて
います。

地域課題の解決にもDXで果
敢に挑戦し、市民一人ひとりが
多様な幸せを実感できる地域社
会の実現を目指しています。



文教福祉

子どもの居場所づく
り事業に関する状況
調査

この事業は、学校や
家庭に居場所がない子
どもが孤立せず、社会
的自立への一歩を踏み出せるよう
支援を行い、ひきこもりや自殺
を未然に防ぐことを目的に、令
和4年度より行っています。

居場所について、名称は「原
町トリート」、運営はNPO法
人トイボックスが行っています。
現在の登録者数は16人、週5日
開設し、スタッフ3人で運営し
ています。支援の内容は、安心・
安全な居場所の提供、生活習慣
の形成・学習支援・課外活動の
提供などで、通常5人程度利用
しています。



建設経済

小高区等空き家リノ
ベーションモデル事
業の状況調査

原発事故により、特
に人口減少した小高区
等への移住促進に資す
るため、県外からの移住を検討
する若年世帯等に対し、空き家
を居住場所として活用するため
市がリノベーションし移住者に貸
し出すことにより、空き家の再
活用を目的とする。

市が無償譲与等を受けた小高
区の既存空き家を、市がモデル
事業としてリノベーションし、中
長期に住める住宅として移住を
検討する若年世帯に貸借する。
現在、小高区内に5号棟まで
あります。国の加速化交付金を
対象に改修しており、県外の方
が対象となっている状況です。



9月定例会後から12月定例会
までの議会活動

令和7年 10月6日 ～7日	議会運営委員会先進地行政視察 (北海道帯広市ほか)
10月10日	広報特別委員会
10月16日	広報特別委員会
10月17日	議会運営委員会
10月20日	広報特別委員会 文教福祉常任委員会閉会中調査活動 (原町トリートほか)
10月23日	議会改革検討特別委員会 建設経済常任委員会閉会中調査活動 (小高区西町ほか)
10月30日	議会運営委員会 総務生活常任委員会閉会中調査活動
11月13日	議会改革検討特別委員会
11月20日	会派代表者会議
11月21日	文教福祉常任委員会閉会中調査活動
11月25日	全員協議会
11月28日	議会運営委員会

※場所の表記がないものは、いずれも市役所。

3月の定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
			【本会議】 議案の提出・説明 ほか			
8	9	10	11	12	13	14
	【本会議】 一般質問	【本会議】 一般質問		【本会議】 一般質問		
15	16	17	18	19	20	21
	【本会議】 議案質疑 【委員会】 予算決算	【委員会】【分科会】 総務生活 文教福祉 建設経済	【委員会】【分科会】 総務生活 文教福祉 建設経済	【委員会】【分科会】 総務生活 文教福祉 建設経済		
22	23	24	25	26	27	28
				【委員会】 予算決算		
29	30	31				
	【本会議】 委員長報告 (質疑・討論・採決)					

※この日程は変更されることがあります。

本会議は原則午前10時に開会します。議会を傍聴する際には、日程をご確認の上、市役所本庁舎4階までお越しください。

○請願・陳情の提出をされる方へ：次回の3月定例会においては、2月25日(水)午後4時までに提出してください。

議会傍聴記

（原町区／鈴木 幸次さん）

今回初めて12月の市議会を傍聴しました。一般質問は市長の政治姿勢や市立病院について、を傍聴させて戴きました。質問者である議員の方々は身近な体験と問題点を把握、整理されて質問されていることに感銘いたしました。

興味を持った内容は、高齢者の安心・安全についてと老人

クラブについての質問です。高齢者が多くなる中、認知症の方も増加してくると思われます。夜間や休日に緊急（病気・けが以外）を要する場面に遭遇した時にどこに連絡すれば良いかを知っていないと対応が遅れると思います。市としても具体的に検討してほしいと思います。

又、老人クラブ数がコロナ以降、減少しているとの事ですが、認知症防止に大事な活動であると思います。

しかし会員が高齢化して運営が難しいのも現実です。私も老人クラブの一人です。新規加入を呼び掛けてはいるのですが中々加入してくれません。そこで誰でも参加できるサロンを立ち上げて活動しています。地域の高齢者の孤立孤独を少しでも無くすコミュニティを作りたいと思います。

市としても、地域に寄り添った具体的な支援活動をお願いしたいと思います。

市議会ホームページ・議会インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録などを掲載していますので、ご覧ください。

また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信（本会議のおおむね5日後）でご覧いただけます。

右記のQRコードから市議会へアクセスしてみてください。



編集後記

新たな広報特別委員会として一年が経過しました。引き続き南相馬市議会の活動を解り易くお知らせ出来るよう取り組みますので宜しくお願い致します。

市民の皆さまには、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和7年は本市は深刻な自然災害はなかったものの、物価高騰により大変な日常生活となった一年となりました。令和8年は、大きな自然災害もなく穏やかな日常を送れるよう願うばかりです。物価高騰に対しても国・県・市に議会として、要望等を全力で進めて参ります。令和8年は午年です。馬のように躍動的でエネルギー、情熱的、行動があると言われており、前向きな挑戦や発展を象徴する縁起の良い年とされています。今年11月には南相馬市議会議員の改選があります。挑戦心旺盛な南相馬の青年を期待しております。

中川 庄一